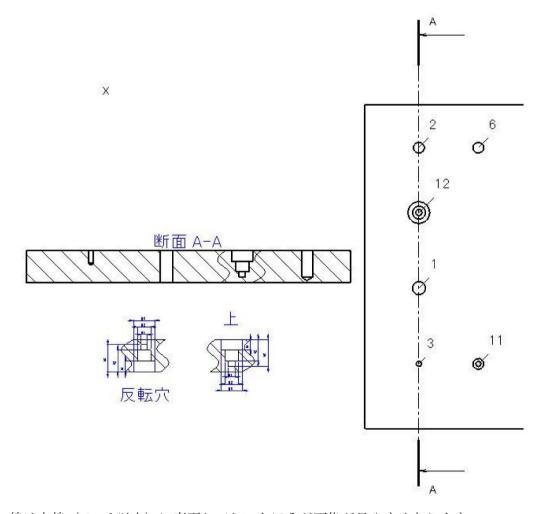
穴テーブル 未定義穴の定義方法

穴テーブルで未定義となる場合の定義方法です。

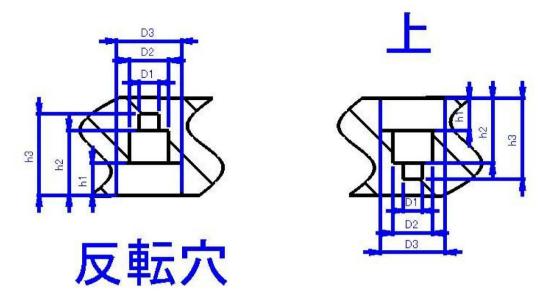
-75.00	50.00	30.00	30.00	12	未定義		
-20.00	-90.00	16.50	30.00	11	d1	10.00	d1 L1
		Providence of	Jan Salas	1	h1	5.00	
				Ī	d2	5.00	h2
					h2	7.50	d2
					h	12.00	
35.00	-90.00	16.50	30.00	10	d1	10.00	d1

まず画像を作成する為の断面ビューと詳細ビューを作成します。 詳細ビューは通常穴用と裏側からの穴ビューです。ネジ切りが存在する場合には ネジ切り用の画像のビューも作成します。

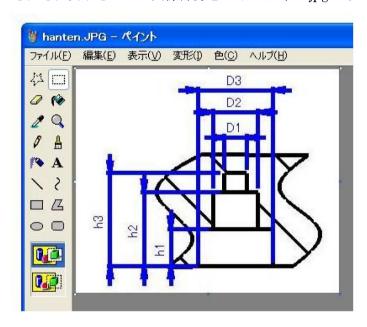


線は太線(4pxl以上)に変更しておいたほうが画像が見やすくなります。

穴テーブルに表示させたい寸法名を入れておきます。



それぞれ表示させたい画像部分をペイント等でjpgファイルとして保存します。



(通常穴、反対側の穴、それぞれネジ切り付きで最大4つの画像を登録出来ます) これで画像の準備が終わりましたので再び穴テーブルに戻ります。 穴テーブルをダブルクリックすると、「穴テーブル (TOH)」ウィンドウが開きます。



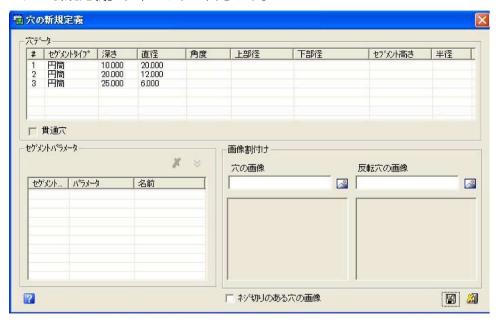


穴テーブルの編集アイコンをクリックします。

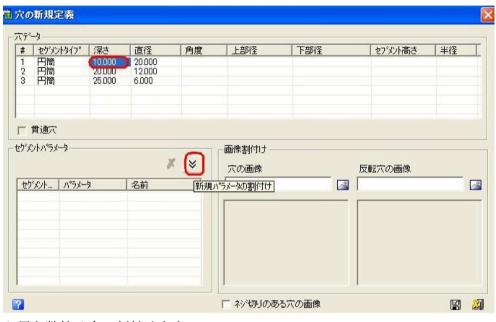
穴テーブルエディタ上で未定義の左上の四角を右ボタンでクリックして「穴定義」を選択します。



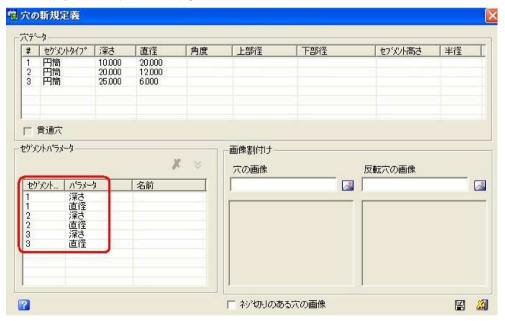
「穴の新規定義」ウィンドウが開きます。



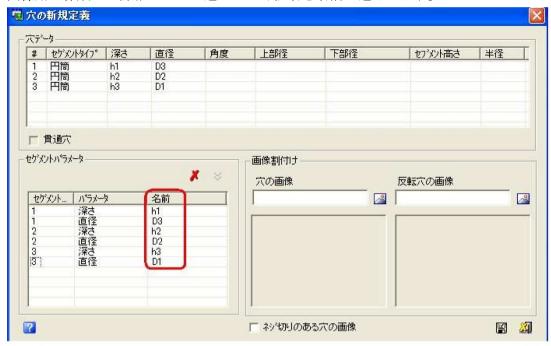
穴テーブルに表示させたい数値を選択し、「新規パラメータの割付け」でセグメントパラメータに追加します。



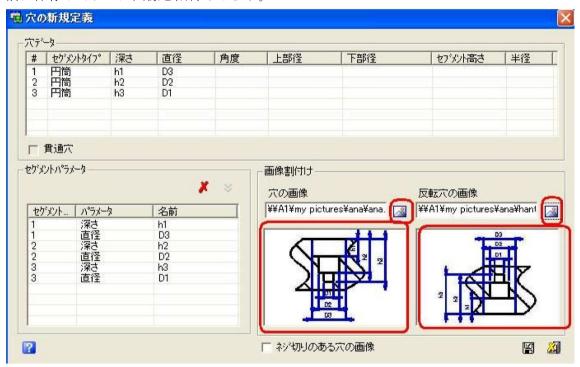
必用な数値は全て割付けます。



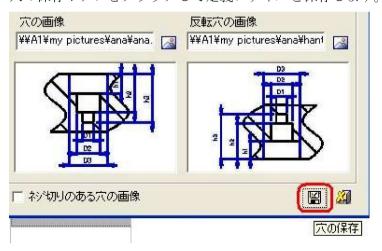
画像用に作成した詳細ビューに追加した寸法名を名前に追加します。



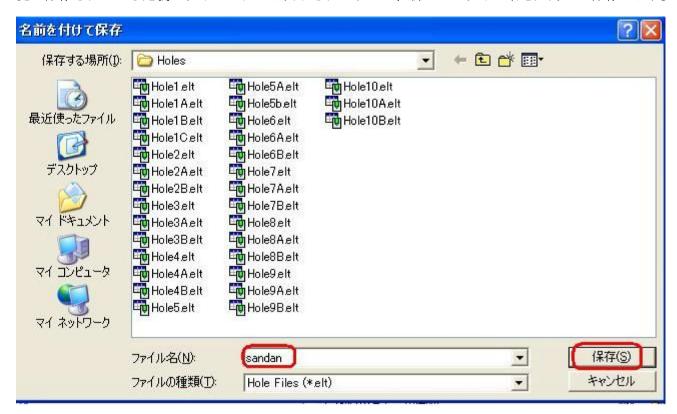
前に保存しておいた画像を割付けします。



穴の保存ボタンをクリックして定義ファイルを保存します。



既に保存されている定義ファイルがリスト表示されますので、新しいファイル名を入力して保存します。



これで定義ファイルの作成は終了です。

再度穴テーブルを作成して結果を確認して下さい。

-75,00	50.00	5.00	30.00	12	D3	20.00	
					h1	10.00	7
		1			D2	12.00	10
					h2	20.00	
	Ç.	8			D1	6.00	
					h3	25.00	
-20,00	-90.00	16,50	30.00	11	d1	10.00	d1 h1
			1		h1	5.00	h h2
					d2	5.00	d2
					h2	7.50	